

じゅしゅう

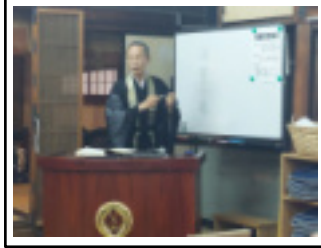
永代経法要 厳修

今年も十月十九日の昼夜の二座、当山の永代経法要をお勤めさせていただきました。永代経法要とは永代にわたってお寺で法要が勤まっていこうということです。法要が勤まるということとは、経典が読まれ、ご法話があり、仏法が伝わっていくということです。この浄覚寺も寺号を下附され三百五十年(約四百年の歴史があります)と一口で言いますが、一回一回の積み重ねが伝統を創っていきましますし、何よりお念仏の教えが私にとって必要であり、伝えていかなければならない大切なものだと思うところからこそ、今があるのだと味わっていることです。

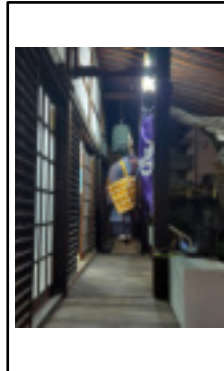
さて、この度のご講師は大阪市東淀川区の若林真人先生です。三年ぶりにご出講いただきました。ご法話の中で、ホームセンターで出会ったご婦人から「亡くなった人に会えますか?」との問いに「はい会えます」とのお返事をされたとのこと。その根拠は『仏説阿弥陀経』に「俱会一処」とのお言葉があり、阿弥陀さまは「俱に一つの処で会う」お浄土を準備してくださっているということ。さらには、お聴聞を重ねていくと、「また会える身が変わっていく」と聞いていくのだとお伝えくださいました。

第67号
(通算407号)

発行元
浄土真宗本願寺派
吉富山 浄覚寺
大阪市平野区
長吉長原3-1-10
06-6790-8350



阿弥陀さまのお救いは、全ての衆生をもちますことなく極楽浄土へ迎え取り、仏のいのちとなすことです。けれども、阿弥陀さまのご縁に遇わなければ、決して阿弥陀さまのお浄土へは参りません。私たちが人には迷惑をかけるないように生きている、と言います。虫も殺したことがないとも。本当にそうでしょうか。私たちは周りに迷惑をかけながらでないと生きられない存在です。食事といういのちをいただく行為の中では、他人に依



頼して命を奪ってもらっているのです。思い間違った生き方では地獄に堕ちるのは当然なのかもしれません。阿弥陀さまはそんな私を心配でほっておけず、何としても抱き取り、悟りのお浄土へ往生させると誓われておられます。その願いに気付かせていただくことが肝要であると、お聴聞させていただきました。

浄覚寺ヨガ教室

- ・11月20日(水)
10時~11時半
- ・参加費500円

浄覚寺雅楽教室

- ・11月26日(火)
19時~20時半
- ・参加費1000円

願以此功德

平等施一切

同発菩提心

往生安楽国

願わくはこの功德をもって

平等に一切に施し

同じく菩提心を発して

安楽国に往生せん

善導大師『観経疏』



御文章に聞く(第60回)

参考文献：『御文章 ひらがな版を読む』 天岸淨圓著 本願寺出版社

一切の聖教章(五帖第九通) 当流の安心の一義というは、ただ南無阿弥陀仏の六字のころなり、たとえは南無と帰命すれば、やがて阿弥陀仏のたすけたまえるころなるがゆえに、南無の二字は・衆生のころなり、帰命というは・衆生のころもろの雑行をすてて、阿弥陀仏後生たすけたまえと・一向にたのみたてまつるころなるべし、このゆえに・衆生をもらさず弥陀如来の・よくしろしめして・たすけますころなり、

今回も御文章(蓮如上人からのお手紙)を味わっていきたいと思います。先月は「帰命」という言葉は阿弥陀さまからの「勅命」であり、私たち側からするとそのままの仰せに順う「信

仏教語辞典



お洗濯

古くなった仏壇を修復する。一度解体し破損した部分を修復しながら組み直し、漆や金箔も新しいものにする。新品同様の輝きを取り戻す。代々お洗濯出来るように、ちゃんと解体できるように作られているのが仏壇のすごいところである。

『気になる仏教語辞典』
著・麻田弘潤 誠文堂新光社
仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

順」の意味があるとお伝えしました。続いては「雑行を捨てる」という意味を味わいます。本文では「もろもろの雑行をすてて」とあります。「行」は修行とも言われますが、私たちのする行いということでしょう。「雑行」は「正行」に対する言葉で、「雑多な行」の略です。念仏以外の雑多な行いということ。つまり「正行」が阿弥陀さまのお浄土に往生するための正当な行であるのに対して、「雑行」は正当でない行という意味を表します。また、違う言い方をすると「雑行」とは自力に執着する姿を表す言葉です。蓮如上人は「雑行・雑修自力の心をふり捨てて」とも言われ、自分勝手な理解によって阿弥陀さまの仰せを聞かないのではなく、自力をたのむところが正しい行いではありません。

編集後記

今月も「じゅこう」をお届けいたします。今年も皆さまのお陰をもちまして、永代経法要をお勤めすることができました。厚く御礼を申し上げます。また、他寺院や地域でも色々な法要や行事が行われております。十一月も津村別院や顕証寺さまなどでも報恩講法要がお勤まりです。団体参拝はなくなりませんが、ぜひお誘い合わせのうえお参りいただければと思います。

先月お願いしました寺報「じゅこう」のデジタル化ですが、公式LINEにご登録いただき有難うございました。この度初めて併用にて送らせていただきますが、感想をぜひ聞かせていただきたく思います。もし読みにくい場合は紙の発送に戻しますのでお気軽にお知らせください。拙い新聞ですが、「世のなか安穏なれ、仏法ひろまれ」の思いで書かせていただいております。ぜひお読みください。(釋法道)

行事案内

- 日時・十一月十一日(月)～十六日(土)
行事・本願寺津村別院
報恩講法要
- 日時・十一月二十五日(月) 十八時半より
行事・天王寺楽所 雅亮会
雅楽公演会
- 日時・十一月二十六日(火)～二十七日(水)
行事・久宝寺御坊 顕証寺
報恩講法要

